

一石二鳥の「笹サイレージ」 地域資源循環システム として普及中

竹・笹を原料とした「笹サイレージ」は
農畜産業の発展と放置竹林対策に貢献
新たな地域資源循環の仕組みを全国に広げたい！



「笹サイレージ」を畑に散布中



放置竹林対策に貢献



ロール運搬作業



農家さんとの打ち合わせ



ココがスゴイ！ POINT

1
point

新たな地域資源循環 の仕組み 「笹サイレージ」

畜産飼料として開発した「笹サイレージ」でしたが、全国的に竹の発酵商品を肥料として活用する動きが見られたことから、都城周辺の農業者に肥料として提供したところ、根の張り、生育、糖度、収穫量などが向上したという声が聞かれました。そこで「笹サイレージ（竹・糖蜜・発酵促進剤）」の名称で、製造・販売をスタートしました。

乾燥

3
point

「バンブードライS」

養豚、養鶏等の畜産業者が使いやすい飼料にするため、笹サイレージや竹パウダーを乾燥する設備を導入し、開発。水分が減り、自動給餌器に詰まりにくい商品です。

焼酎粕

2
point

「熟成フロンティア 笹活性材」

“竹・笹パウダー”と地元焼酎製造企業が開発した“成熟発酵焼酎粕”とのコラボ。新しい土壌改良材「熟成フロンティア笹活性材」を開発し、販売しています。



当社の採用方針

当社は地域の環境保全に取り組んでいます。
環境について興味のある人や、地域のために一生懸命になれる人を求めています。

「農家ファーストで取り組んだ結果が 良い結果につながっています」

放置竹林対策として開始した事業ですが、事業内容として前例のない中で、成長期待企業に採択いただきました。県の各機関、大学等のご協力により畜産、園芸分野でのエビデンスが相当数そろってまいりました。

弊社は、良質な商品を開発製造し、畜産での肉質向上や園芸での収穫量向上、各生産者の所得向上に寄与する「農家ファースト」が、地

域経済発展に繋がると思うので当事業に取り組んでおります。

当事業で製造された商品により、農畜産現場で次々と良い効果を出してきています。今後、農畜産業での利用拡大が進むことで、放置竹林の伐採事業も加速的に推進できると考えております。農家を下支えする立場として、弊社の成長も加速させてまいります。

代表取締役

田中 浩一郎

Tanaka Koichiro

1969年生まれ 〔都城市出身〕

座右の銘は「一念天に通ず」。趣味は海釣り。社員の約半数も釣りが趣味で、中にはボートを購入した社員がいるほど。年末には釣った魚をそれぞれがさばき皆で楽しむなど、趣味を通して社員と交流しています。

同社は2005年に石油関連の地下貯蔵タンクや地下埋設配管の点検・メンテナンス業務を行うことを目的に創業しました。その後、点検作業で使用していたダンプカーを活用し、「のこず」の製造と販売を始めました。畜産敷料として使われる「のこず」は、牛・豚・鶏を大規模に飼育する農業者に販売し、南九州一位の出荷量を誇ります。しかし、バイオマス発電向けの需要供給増加により原料である木材が高騰したため、竹チップの製造を行い販売をスタートさせました。

そして新たな事業を模索。農業者との関係構築が進む中、宮崎県畜産試験場が飼料自給率を高めるため竹パウダーを乳酸発酵させて牛の飼料として開発した研究成果を実用化し、さらに飼料だけでなく肥料にも使用できる商品「笹サイレージ」を開発・量産する取り組みをスタートしました。竹の伐採用機材や細断型ロールベアラー、ラッピングマシンなどを導入し、全国初の量産化施設も開所。2016年にはオリジナルの梱包システムで特許を取得しました。

この「笹サイレージ」を半年間与えた肥育牛の実証実験では「実験した12頭のうち10頭が4等級、2頭が5等級」という優秀な結果に。都城市高城町のブランド豚「観音池ポーク」でも実証実験を行い、おいしさの目安として注目されるオレイン酸の値が上昇するなど畜産界での手応えを得ました。

また、畜産だけでなく、耕作や園芸分野での利用も進んでいます。地元焼酎製造企業が開発した成熟発酵焼酎粕とのコラボにより、土壌改良材「熟成フロンティア笹活性材」を開発し販売。作物の成長促進に期待できるとし、実際に利用した生産者によると、「収穫量が増えた」「粘りが良く糖度が増し、おいしい野菜ができた」などの声も聞かれています。また、利用する生産者のPRに力をいれ、農畜産業のサポートにも取り組んでいます。

同社は令和2年6月に都城市と、さらに12月には三股町と包括連携協定を締結しました。地域の放置竹林を無償伐採し地域の環境対策に貢献するとともに、資源の有効活用、地域の活性化などを図っていきます。田中社長は「笹サイレージの普及を進めることで農畜産業の発展と、年々増え続けている放置竹林解消の両方に寄与できる地域循環の仕組みを各地に広げていきたい」と、全国への普及を目指しています。

Voice

若い人から年配の社員まで皆が仲良く、明るく楽しい雰囲気
の社風です。上下関係なくア
ドバイス合うなど、仕事にも活
かされています。

飼料・肥料事業部



29 大和フロンティア 株式会社

〔業種〕木材・木製品製造業

〒885-0042 都城市上長飯町2416-5

TEL.0986-21-0151 FAX.0986-21-0135

代表：代表取締役 田中 浩一郎

資本金：1,000万円

社員数：19名(2020年12月末現在)

創業年：2005年

<https://www.yamato-frontier.co.jp/>